

2023年3月27日  
南海電気鉄道株式会社

## 当社のeスポーツの取組みが高く評価され、 「FOST社会貢献賞」を受賞しました！



※【右から1人目】理事長 襟川 陽一氏 【左から1人目】理事 白鳥 令氏 【左から2人目】当社執行役員 和田 真治 ほか受賞者の皆さま

南海電気鉄道株式会社（代表取締役社長：遠北 光彦）が、中期経営計画「共創140計画」の主な事業戦略の一つ「未来探索」の打ち手として推し進めるeスポーツへの取組みが高く評価され、公益財団法人科学技術融合振興財団主催の「FOST社会貢献賞」を受賞しましたので、お知らせします。

優れたシミュレーション&ゲーミングの研究者・団体を評価する「FOST賞」のなかでも、今回当社が受賞したのは、学術・事業を問わず社会貢献という観点で顕著な業績をあげた団体を表彰する「**FOST社会貢献賞**」です。当社がプレイヤーファーストを掲げ、学生に寄り添いながら、親世代への理解促進に継続して取り組んできた活動が評価され、今回の受賞につながりました。代表的な活動としては、eスポーツ総合ショップ「eスタジアム」の運営（国内5施設）や、2022年8月に泉佐野市と開催した「eスポーツキャンプ」（4日間・全国から44名参加）、また神戸大学大学院医学研究科デジタル精神医学部門特命教授の曾良一郎氏と実施している「依存症防止のためのメンタルヘルスケアセミナー」などが挙げられます。

今後も、eスポーツを当社の事業の柱として成長・確立させていくとともに、eスポーツの健全な発展・文化への昇華を目指し、eスポーツを通じた社会貢献に引き続き邁進していきます。詳細は、以下のとおりです。

### <参考>

◆公益財団法人科学技術融合振興財団 主催「FOST賞」公式サイト <http://fost.or.jp/award.html>

## 1. 「FOST賞」とは

2007年から、優れたシミュレーション&ゲーミングの研究者・団体に対して評価を行っており、「FOST賞」「FOST新人賞」「FOST社会貢献賞」が設けられています。

その中でも、今回当社は、学術・事業を問わず、社会貢献という観点にて顕著な業績を上げた人または団体を表彰する「FOST社会貢献賞」を受賞しました。過去の「FOST賞」「FOST新人賞」「FOST社会貢献賞」の受賞者としては、学術機関の研究者が多く、民間企業の受賞は多くありません。



### ◆今回(2022年)の受賞者一覧

FOST 賞	川合 康央氏(文教大学情報学部情報システム学科 教授)
FOST 新人賞	シン・ジュヒョン氏(立命館大学 先端総合学術研究科) 進士 多佳子氏(日本大学大学院 生産工学研究科 数理情報工学専攻)
FOST 社会貢献賞	南海電気鉄道株式会社

※参考:直近3年間の受賞者一覧(役職は、受賞当時)

2021年	・鈴木 研悟氏(筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域 助教) ・横山 実紀氏(北海道大学大学院文学院)
2020年	・北梶 陽子氏(広島大学ダイバーシティ研究センター 助教) ・内藤 碧氏(東京大学大学院 人文社会系研究科 社会文化研究専攻) ・佐藤 みずほ氏(東京農業大学 国際食料情報学部 食料環境経済学科 准教授)
2019年	・兼田 敏之氏(名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授) ・家入 祐也氏(早稲田大学 創造理工学研究科) ・松田 稔樹氏(東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 教授)

### ◆公益財団法人科学技術融合振興財団 概要

設立 : 1994年4月

所在地 : 神奈川県横浜市港北区日吉本町1-4-24

活動概要 : シミュレーション&ゲーミングの研究など、社会や文化の文脈のなかで科学技術の融合を促進させる研究課題に対する助成事業と、その成果を広く還元する普及啓発事業を活動の柱としている。

公式ウェブ : <http://www.fost.or.jp/index.html>

## 2. 公益財団法人 科学技術融合振興財団からのコメント

### ◆ 理事 白鳥 令氏 (東海大学 名誉教授)

長年続いているFOST賞において、民間企業への授賞は今回が3社目です。授賞の決め手となったのは、地域自治体と協働してeスポーツを通じたまちづくりを推進していることや、eスポーツの教育的価値にフォーカスを当て、学生であれば誰もが参加できるeスポーツ大会を主催するなど、社会貢献度の高い取組みを積極的に行っていることです。誠にありがとうございます。

### ◆ 理事 鐘ヶ江 秀彦氏 (立命館大学 教授)

受賞誠にありがとうございます。同社の取り組みは、eスポーツのプロチームやゲーム企業、出版流通やネット系に限られてきた従来の枠組みを超えており、日本の企業として非常にインパクトが大きいものです。eスポーツとゲーム関連の企業活動は仮想空間上で拡大中のため、なかなか実空間の地域や自治体との連携が結実していない課題があります。そのような中であって施設を運営し、学生向けの大会を開催し続け、ゲーム障害の啓発セミナーや若手育成に注力していることは、他の企業にとって素晴らしいお手本となっており、社会貢献という面で多大な価値があります。

### 3. 授賞式における南海電鉄のコメント

南海電鉄は、かつてプロ野球球団を有し、野球を通じて文化の発信と青少年の健全な育成に取り組んできた歴史があります。そこで2022年度より、eスポーツ総合ショップ「eスタジアム」の運営をはじめとするeスポーツ事業を展開し、青少年の健全な育成とeスポーツ文化のさらなる発展に力を入れています。

学生の成長の場所を創出という点では、泉佐野市と開催した「eスポーツキャンプ」が代表的で、北海道から九州まで全国から44名の方にお越しいただき、高校生の合宿を行いました。そのなかで、参加者の皆さんや親御さんから「ゲームを通じて物事を考えて行動することの価値を学んだ。」「コミュニケーションをとりながら、チームプレーする経験は、社会人になっても大人になっても役立つだろうと、この4日間で学んだ。」等の感想をいただき、わたしたちが想定した以上の成果が出たと考えています。

個人が自立的にやりたいことを行い、それが認められる社会をつくることを目標に日々取り組んできたことが、今回の受賞に繋がったと考えています。これからも、いただいた賞に見合うよう、地域の皆さまや関係各社と共創し、社会課題の解決と豊かな暮らしの実現を目指していきます。



泉佐野市主催「eスポーツキャンプ」の様子



eスタジアム岐阜(岐阜市「マーサ 21」)



メンタルヘルスセミナーの様子